

【浄化槽設置整備事業補助金の提出写真】

◎写真管理の注意

- ・浄化槽整備士が工事を実地に監督していることが分かるように撮影すること
- ・逆光等を避け、フラッシュや撮影角度の工夫を行い、明瞭に撮影すること。
- ・内容に応じ、全体写真とスケール、水平器等のアップを撮影すること。

◎実績報告書に必要な写真

写真の種別	注意事項
①着工前	浄化槽設備士が正面を向いて標識を掲げ、背景に工事を行う場所（設置予定地）の周辺状況（地面、家屋）と撮影すること
②掘削完了	底盤の状態が分かるもの。逆光に注意し、深さ1.5m以上の場合は矢板等の安全対策に考慮して撮影すること。
③砕石・基礎工	栗石の突き固めの完了後を撮影すること。砕石基礎の場合は厚さ15cmが分かるようにスケールを設置すること。
④配筋工	配筋全景、鉄筋被り等が分かるもの。配筋のピッチ20cm以内が分かるように撮影すること。
⑤基礎コンクリート打設	打設中で配筋、型枠が確認できるもの。パイプレーターでの締め固めが行われている状況が分かるように撮影すること。
⑥コンクリート基礎工	出来高が分かるようにスケール及び水平器を設置したもの（全体とアップ）を撮影すること。
⑦据付工	浄化槽の種類が確認できるものを撮影すること。
⑧水張り	浄化槽設備士が水張りし、水平器を設置して確認しているものを撮影すること。
⑨埋戻工	水締めと突き固めを行っていることが確認できるもの。 スケール等を置いて各層毎に撮影すること。 埋設状況が全景で分かる完了写真を撮ること。
⑩スラブ配筋工	配筋が全景で確認でき、スペーサー等が設置されているものを撮影すること。配筋のピッチが分かること。
⑪スラブコンクリート打設	打設中で配筋が確認できるよう撮影すること。
⑫スラブコンクリート工	コンクリートの出来高が分かるようにスケールを設置したもの（全景、近景）を撮影すること。
⑬嵩上げ状況	嵩上げ高さが分かるように、スケールを設置して撮影すること。
⑭排水設備	管基礎と柵基礎が確認できるように、全ての管及び柵を撮影すること
⑮臭突管設置	臭突管又は横引き管が確認できるよう撮影すること。
⑯ブロワー設置	ブロワーを設置した状況を撮影すること。
⑰竣工	浄化槽設備士が入っており、浄化槽の設置が確認できるように全景を撮影すること。
⑱その他	必要に応じて撮影をすること。（ピット工事状況等）

※写真提出に不備がある場合は、補助金の支給ができない場合があります。

工 事 写 真 集

設置者名

設置場所

施工業者名

浄化槽設備士

【注意事項】

- ① ヘルメットを着用していること。
- ② 写真は工事進行段階ごとに撮影すること。
- ③ 現地であることが確認できるカメラアングルとすること。
- ④ 1つの写真で確認できない場合は、必ず別に写真を添付すること。
- ⑤ 浄化槽設備士が実地に監督しているか、自らが工事していること。
- ⑥ 写真の様式が不足する場合は、シートをコピーして使用すること。

写真(1)【着工前】

- 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っていること
- 浄化槽工事業者登録票の記載内容が明瞭に見えること
- 施工位置及び全景が確認できること

写真(2)-1【掘削状況】

--	--

写真(2)-2【掘削完了】

	○必要に応じて矢板等を使用し、土留めを行うこと。
--	--------------------------

写真(3)-1【砕石・基礎工】

○スケールを添え、基礎厚が確認できること(基礎厚150mm)

○転圧状況が確認できること

○割栗石の場合、目潰し材を充填していることが確認できること

写真(3)-2

写真(4)【配筋工】

- 配筋全景が確認できること
- スケールを添え、配筋のピッチ200mm以内が明瞭に分かること
- 鉄筋被り(スペーサー等)が確認できること
- 上部に車庫等の荷重がかかる場合は、ダブル筋が確認できること

写真(5)【基礎コンクリート打設】

- 打設中で配筋が確認できること
- 型枠が確認できること
- スケールを添え、コンクリート厚100mm(上部荷重は150mm)が確認できること
- バイブレーターでの締め固めが行われていること

写真(6)【コンクリート基礎工】

○スケールを添え、コンクリート厚100mm(上部荷重は150mm)が確認できること

○全景が確認できること

写真(6)-2

○近景

写真(7)【据付工】

○浄化槽の形式及び据付機械が確認できること

○全景が確認できること

写真(8)【水張り】

○浄化槽設備士が水張りし、水平を確認していること
※水準器を使用すること

写真(9)-1【埋戻工】

○スケール等を置いて、一層の仕上厚が300mm以下であることが確認できること

○水締めと突き固めを行っていることが確認できること

○各層毎に撮影すること

一層目仕上がり厚:H= m

写真(9)-2

層目仕上がり厚:H= m

写真(9) - 3

	層目仕上がり厚:H= m
--	--------------

写真(9) - 4

	層目仕上がり厚:H= m
--	--------------

写真(9) -5

	層目仕上がり厚:H= m
--	--------------

写真(9) -6

	層目仕上がり厚:H= m
--	--------------

写真(9)-7【埋戻し完了】

○埋戻しが完了し、浄化槽の埋設状況が全景的に把握できること

写真(10)【スラブ配筋工】

○スラブ配筋全景が確認できること

○スケールを添え、配筋のピッチ200mm以内が明瞭に分かること

○鉄筋被り(スペーサー等)が確認できること

○上部に車庫等の荷重がかかる場合は、ダブル筋が確認できること

写真(11)【スラブコンクリート打設】

○打設中で配筋が確認できること

○周辺のコンクリート舗装と一体の場合以外は、スラブ厚100mm(上部荷重は150mm)が確認できること

写真(12)【スラブコンクリート工】

○スケールを添え、コンクリート厚100mm(上部荷重は150mm)が確認できること

○全景が確認できること

写真(13)【嵩上げ状況】

○スケールを添え、嵩上げ高が確認できること
※上限300mm

写真(14)-1【排水設備】

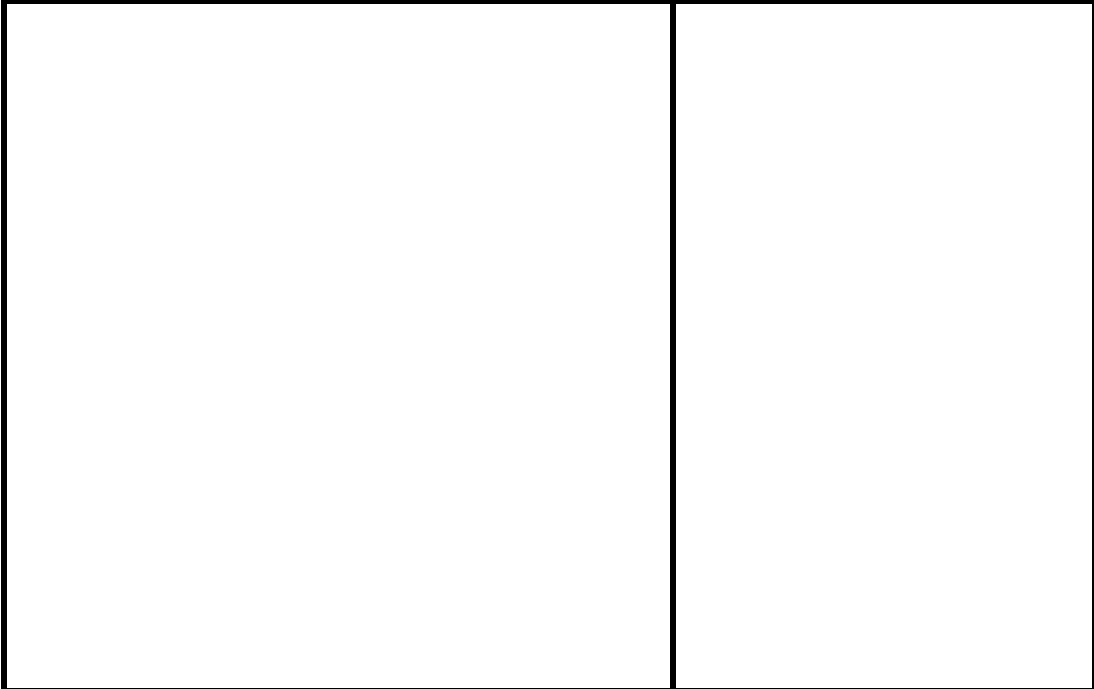
○配管及び柵据付状況が確認できること

○管基礎と柵基礎(碎石)が確認できること

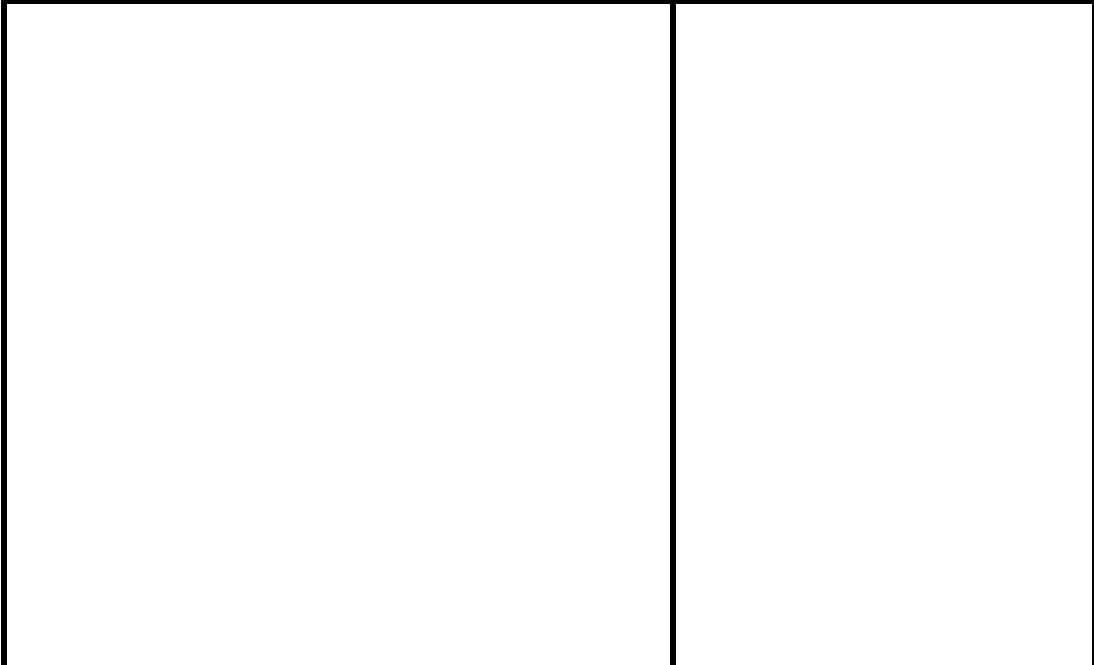
○全景が確認できること
※全ての管及び柵を撮影

写真(14)-2【排水設備】

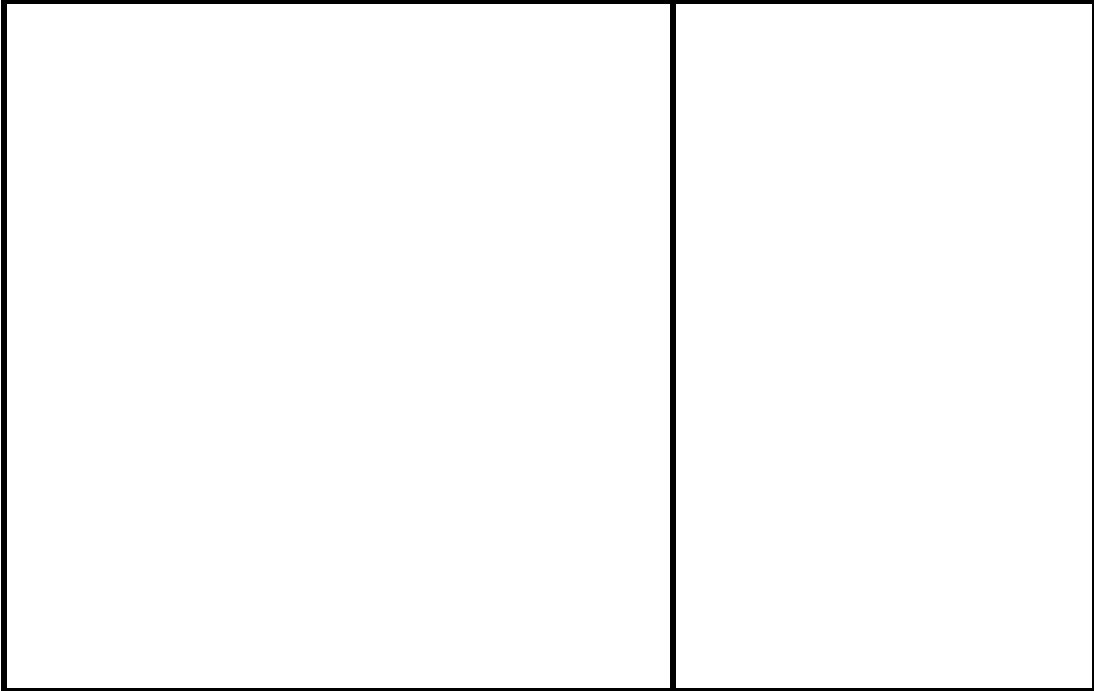
写真(14)-3【排水設備】



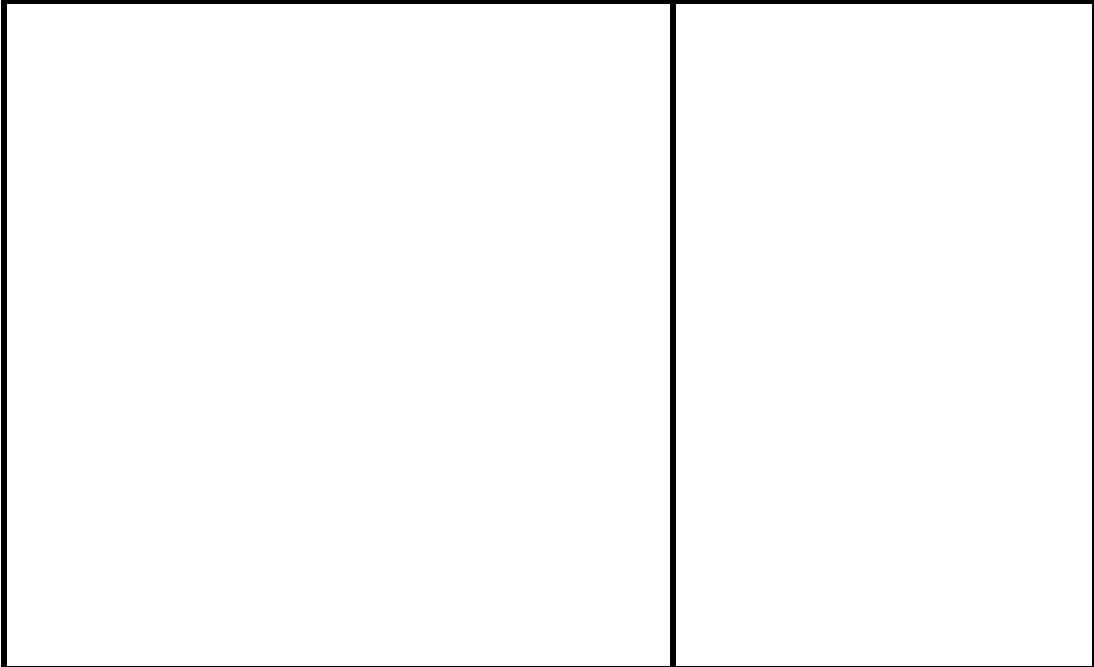
写真(14)-4【排水設備】



写真(14)-5【排水設備】



写真(14)-6【排水設備】



写真(15)【臭突管設置】

○臭突管又は横引き管が確認できること

○立ち上げ管の設置が困難な場合は、地面まで臭突管を出し、キャップしていることが確認できること

写真(16)【ブローア設置】

○水平に設置されていることが確認できること

○ブローアの基礎が10cm以上高いことが確認できること

○設置工事(アース)が必要な場合は、確認できること

写真(17)【竣工】

- 浄化槽設備士が浄化槽工事業者登録票を持っていること
- 浄化槽工事業者登録票の記載内容が明瞭に見えること
- 施工位置及び全景が確認できること

写真(18)【その他】

- 工事で必要な写真、指摘事項

写真(18)【その他】

○工事で必要な写真、指摘事項

写真(19)【ピット工事】

○ピット構造が確認できること

○ピット内からの排水箇所が確認できること

写真(20)【柱筋】

○フープ筋ピッチが確認できるようにスケールとともに写すこと

写真(20)【柱筋】